

C-35 被服幾何構成に関する基礎的研究

第4報 ダーツ条件とディメンショナル歪の一般特性

実践女大家政○平岡和香子 恵泉女種大 藤井春代 東京工大 山口正隆

目的 ダーツ曲面はたて方向の歪率 $\alpha$ 、よこ方向の歪率 $\beta$ によって定まり両者ともダーツ域内で発生するが、このためダーツ域外にディメンショナル歪が生じ曲面を構成する。そこで $\alpha$ および $\beta$ をダーツ角 $\theta$ の関数としてその特性を検討しその他各種条件の特性について求めようとするものである。

方法 各理論式のそれぞれの2因子の関係を他の因子を一定としてその特性を求め検討する。

結果 ダーツ比( $\frac{\alpha}{\beta}$ )を一一定にしてダーツ角 $\theta$ と $\alpha$ との関係は右図のごとく概略 $\theta$ に比例して大きくなるが同じく $\beta$ との関係は $\theta$ が小さいほど逆比例して最大/となり $\theta$ が増大するほど急激に小さくなる。ただし $\alpha$ は $\theta$ が0のときが最大となるため $\alpha$ は0とはならないし、また $\beta$ はダーツ線がたて糸方向と一致したとき1. すなわち最大となる。言いかえればダーツ線とたて軸が一致したときの角を $\theta_0$ とすると、 $\beta$ の値は $\theta=\theta_0 \sim 0$ 間ですべて100%となることを示している。

